

外観



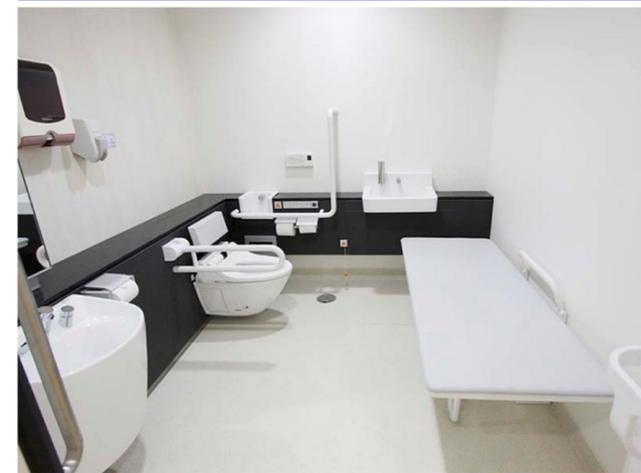
香川県のほぼ中央に位置する滝宮総合病院。今後さらに整備を行い、グランドオープンが2013年11月予定。

受付



2層吹き抜けの受付ロビー。外来関係は緑、診療関係は水色と、サインが色分けされている。

受付ロビー 多機能トイレ



車いす使用者やオストメイトにも配慮し、デザイン性・機能性を兼ね備えたRESTROOM ITEM 01のフラットカウンター多機能トイレバックを採用。衣服の着脱などに利用できる収納式多目的シートも完備。

病棟 汚物処理室



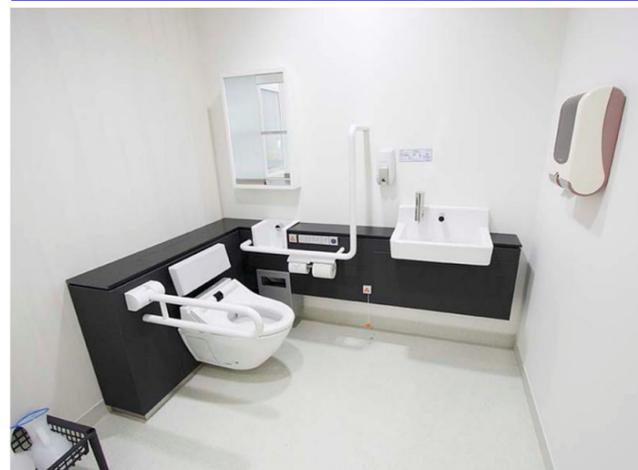
医療スタッフの使い勝手に配慮し、病棟1棟に汚物処理室を1ヶ所設置。ひじでも操作できるレバーハンドル式で、水はねの少ない新型の汚物流しを採用。

外来トイレ（泌尿器科）



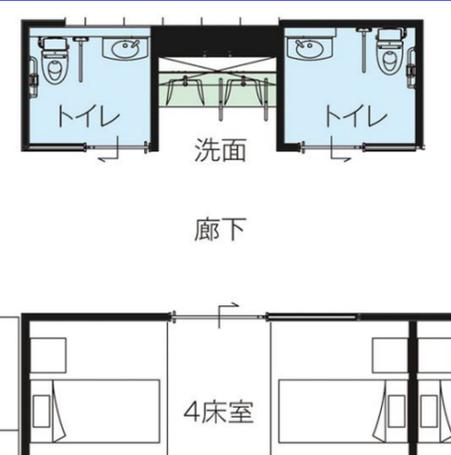
大便器に腰掛けて排尿するだけで、尿流測定ができる「フロースカイ」を採用。

外来トイレ 車いす使用者対応トイレ



使いやすさと同時に空間としての統一感のあるデザインを実現したRESTROOM ITEM 01を採用。大便器に座ったままの姿勢で検尿カップが置ける採尿棚を設置（造作）。

病棟 平面図



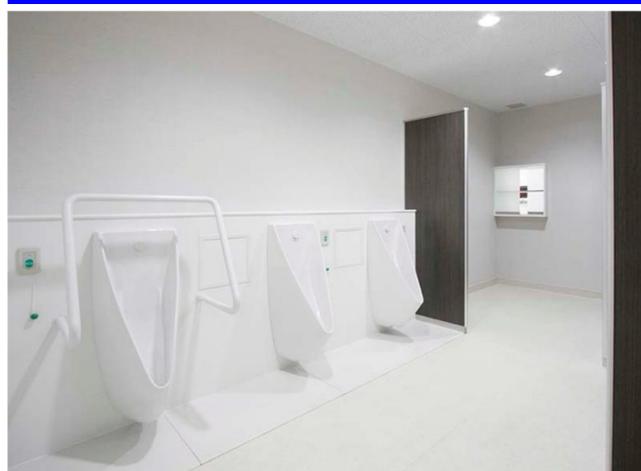
使い勝手と音やプライバシー配慮を考え、半分散型のレイアウトを採用。

病棟トイレ・洗面所



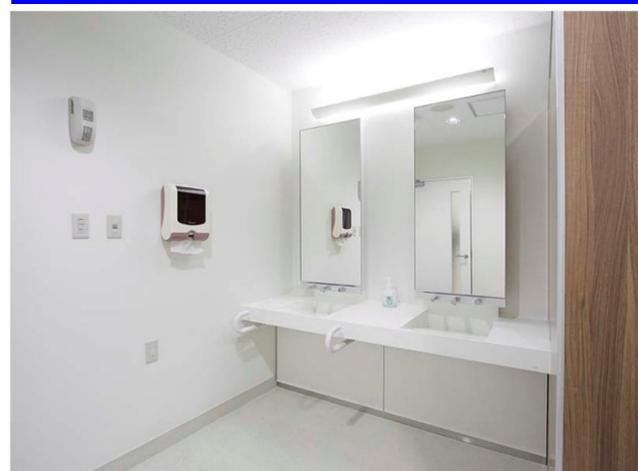
病棟に設けられた半分散型のトイレと洗面所。

外来トイレ 男性トイレ



節水のための最先端技術を備えたシンプルなデザインの小便器RESTROOM ITEM 01を採用。

外来トイレ 女性トイレ



スリット形状の排水口やスクエアな洗面ボウルなど、シャープなデザインのボウル一体カウンターRESTROOM ITEM 01を採用。車いす使用者もスムーズにアプローチできる。

建築概要

名称	滝宮総合病院
所在地	香川県綾歌郡綾川町滝宮486
施主	香川県厚生農業協同組合連合会
設計	株式会社内藤建築事務所
施工	株式会社フジタ
竣工年月	2012年7月

水まわりの特長

<建物の概要>
1940年代から地域の医療を担っている滝宮総合病院。建物の老朽化や、旧中央棟と北棟の耐震不足が懸念されるため、診療部門や病棟を整備した本館を建設し、2012年7月に完成。がん治療や救急患者への対応が充実し、療養環境が大幅に改善された。

<トイレの特長>
車いす使用者がアプローチしやすいゆったりとした広さを確保し、座位の安定や立ち座りをサポートする手すりや背もたれの設置など、安全面に配慮した設備を備えている。1Fの外来は、検査室をトイレで囲む機能的なレイアウトで、検査室と直接つながる採尿棚を配置している。また、患者様やスタッフの利便性を考慮し、泌尿器科のトイレには尿流量測定装置「フロースカイ」を導入。いつものようにトイレで排尿するだけで尿流の測定ができ、患者様にも喜ばれている。